

立岩巖氏：一對馬白堊紀植物 (Cretaceous Flora of Tsushima, *ibid.* 1934. p.p. 185-209. tt. 23-24.)

著者は對馬國に發達する白堊紀層をば南鮮、對馬、北九州の比較地質學及び岩石學上より白堊紀最上部の Danian 階にして南鮮の所謂佛國寺統となし、白堊紀末の南日本中央線の發生の際に起りし對馬陷落盆地の成生に續いて同時に噴入せし石英斑岩に因れる凝灰岩の沈積は本植物 Flora を保有せしものと考へ、對馬白堊層は南鮮の佛國寺統に相當し白堊最上部の Danian 時代の植物化石なりとし *Myrica?* sp, *Quercus* sp, *Ulmus?* Nasai TATEIWA, *Leguminosites tsushimensis* TATEIWA, *Citrophylum* sp, *Celastrophyllum japonicum* TATEIWA, *Aralia* sp, *Sterculia taishuensis* TATEIWA, *Phyllites* 6 sp. を擧げたり。(G. KOIDZUMI)

雜 報

銀杏の天然生

支那の鄭萬鈞 (W. C. CHENG) 氏は浙江省の西天目 (Tienmu) 山には針葉樹や潤葉樹の混交樹の内に銀杏 (*Ginkgo biloba* L.) の混生するもの甚普通にして自然生の狀をなすと報告せるが、此山には亦杉の自然生もありと云ふ、然し多分 escape せしものならん。

いせいちご

イセイチゴ (*Rubus isensis* HONDA) はキノクニイチゴ (*Rubus kinokuniensis* KOIDZ.) である。

おほばのとんぼさう

オホバノトンボサウの學名は *Platanthera minor* REICHB. fil. (1878) であるのは予が 1926 年 7 月伯林ダーレムで REICHENBACH 氏の type を見て是を知つた、標品は REIN 博士が日本にて採りしものである。 *Pl. interrupta* MAX. や *Pl. neglecta* SCHLTR. は其異名である。従來 *Pl. minor* REICHB. fil. と吾人の思つて來たものは *Pl. sororia* SCHLTR. か *Pl. Maximowicziana* SCHLTR である。(G. KOIDZUMI)

Acer pictum THUNB.

THUNBERG 氏は日本でイタヤカヘデの斑入品を採集し是に *Acer pictum* THUNB の